

## ■ 目次

### ■ 平成30年第2回定例会【6月】

#### 提出議案・人事

- 補正予算・主な質疑 …………… 2～3
- 公営住宅建設工事請負契約 …………… 4

### ■ 一般質問 …………… 5～13

### ■ 議会トピックス …………… 14～15

### ■ 議会だよりギャラリー …… 16



#### 毎日おいしい 給食いただいています。

議会広報常任委員会では、旭田小学校の児童の皆さんと一緒に学校給食をいただきながら、その風景を撮影してきました。

皆さんありがとうございました。



6月定例会は、8日から15日までの8日間の会期で開かれました。

今定例会は、専決処分の承認、副町長及び監査委員、固定資産評価審査委員会委員(2件)、人権擁護委員の人事案件、条例の一部改正、平成30年度補正予算など、町提出議案13件はすべて可決しました。

# 6月定例会

## 提出された議案

### 【町提出議案】

- ▼29年度下郷町一般会計の繰越明許費(報告)
- ▼29年度下郷町簡易水道事業特別会計の繰越明許費(報告)
- ▼専決処分(承認)
  - ・下郷町税条例等の一部を改正する条例の設定
  - ・下郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の設定
- ・29年度下郷町一般会計補正予算
- ・29年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ▼副町長の選任
- ▼監査委員の選任
- ▼固定資産評価審査委員会委員の選任(2件)
- ▼人権擁護委員候補者の推薦
  - ▼下郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の設定
  - ▼下郷町公営住宅(一一一号楼)建設工事請負契約
- ▼30年度下郷町一般会計補正予算
- ▼30年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算

## 人事案件に同意

### 再任 副町長に

玉川 一郎氏

(桃曾根)

6月15日で任期満了となる

副町長に、玉川 一郎氏を再任する議案が提出され、投票の結果、賛成8票、反対3票となり、賛成多数で同意されました。

任期は平成30年6月16日から4年となります。

### 再任 監査委員に

渡部 正晴氏

(倉村)

町監査委員2名のうち、識見を有する者として選出され

る監査委員が6月30日で任期満了となるため、渡部正晴氏を再任する議案が提出され、全会一致で同意されました。

任期は平成30年7月1日から4年となります。

### 固定資産評価

### 審査委員会委員に

星 能哲氏

(姫川)

新任 小山 敏喜氏

(塩生)

の選任に同意

任期は平成30年7月1日から3年となります。

### 人権擁護委員に

黒森 正敬氏

(芦の原)

の推薦に同意

今後、法務大臣から委嘱されることとなります。

# 平成30年度一般会計補正予算 1863万2千円を追加補正 総額47億6563万2千円に

今回の一般会計予算（6月補正）では、耐震性貯水槽設置工事費や林道大峠線の崩落に係る工事のほか、町職員人事異動に伴う人件費の調整などの補正が行われました。

## 一般会計予算（6月補正）の主なもの

### ▼歳入

|                                |         |
|--------------------------------|---------|
| 障害者総合支援事業費補助金                  | 195千円   |
| 社会保障・税番号制度システム整備費補助金           | 1,377千円 |
| 地方創生推進交付金                      | 1,000千円 |
| 消防防災施設整備費補助金                   | 5,386千円 |
| 消費者風評対策市町村支援事業交付金              | 5,000千円 |
| 防火水槽補償料（会津縦貫南道路用地に伴う中妻地内の防火水槽） | 3,008千円 |

### ▼歳出

|                         |          |
|-------------------------|----------|
| コミュニティ助成事業補助金（倉区の防犯灯整備） | 2,500千円  |
| 重機等借上料（水門区）             | 864千円    |
| 消火栓修繕料（沼尾・田代区）          | 2,393千円  |
| 耐震性貯水槽設置工事費（沢田・湯野上地内）   | 21,408千円 |
| 集落集会施設等整備補助金（中妻・枝松集会所）  | 405千円    |
| 災害復旧費（林道大峠線の崩落に係る工事）    | 7,000千円  |



林道大峠線の崩落箇所

**答** 県に確認したが、災害復旧補助対象には該当しなかった。よって、査定は受けていない。崩落の状況はおおむね確認しているので、7月に早急に発注して急ピッチでやる方法を考えている。

### 問

県の災害復旧補助対象になるのか。

重要な観光路線なので、査定前着工はできないのか。秋のイベントを実施するためにも早期復旧をお願いしたい。

## 主な質疑

### 問

たばこ税として、町内の加熱式たばこの売り

上げはどのくらいか。

### 答

現在、紙巻きたばことして一括で入っている。これから名称の条例が制定されれば加熱式たばことして把握できる予定である。

### 問

中妻地内の一番上にある防火水槽が、会津縦貫南道路の用地となり、町に補償金として入るが、中妻区ではなくとなると困ると思うが、来年あたり予算措置をしてやるのか。

### 答

今後、中妻区や中妻消防と協議していく。また、土地の問題もある。早急

に実施するとなれば、消火栓の設置などが考えられるので、その辺は協議をして進めたい。



1-2号棟（H29繰越事業、H30完成予定）

1-4号棟（H29完成）

1-1号棟（今回の工事請負契約：H30完成予定）

1-3号棟（H29完成）

▼姫川団地の全体イメージ  
1棟（2戸）を8棟（計16戸）

## 姫川団地を建てかえ 安全で安心な住環境を提供

### 下郷町公営住宅（1-1号棟）建設工事請負契約

【工 事 名】下郷町公営住宅（1-1号棟）建設工事（姫川団地）

【契 約 金 額】5648万4千円

【契約相手方】三立土建株式会社 代表取締役 浅沼 秀俊

#### 1-1号棟の建設概要

- 【住宅規模】木造2階建て（1棟2戸）  
【間 取 り】1階LDK13.3帖、和室6帖1室  
2階洋室6帖2室  
【床 面 積】1階50.72㎡、2階28.98㎡  
合計79.70㎡  
【ト イ レ】合併浄化槽による水洗式

姫川団地1-1号棟の施工箇所は、平成29年度に建設した1-3号棟及び1-4号棟、平成29年度繰越事業の1-2号棟と同じ区域内となります。契約工期は、平成31年2月28日、竣工予定となります。姫川団地は、昭和54年、供用から39年が経過し老朽が著しく、昭和56年度改正建築基準法に適用されていません。建てかえにより入居者の安全安心な住環境を提供するものです。

### 質 疑

**問** 温水洗浄便座はついて  
いるのか。

**答** ついていないが、便器  
は洋式であるため、入  
居者の自己負担により、温水  
洗浄便座にすることはできる。

**問** 今回の契約金額は、前  
回（1-2号棟）に比  
べ安い、何か変更があつた  
のか。

**答** 建物の設備は、基本的  
に同じだが、屋外電気  
設備工事（引込開閉器盤等）  
がないため、1-2号棟に比  
べて安い。

**問** 完成後、住宅使用料の  
ほかに浄化槽維持管理  
に係る経費はどうなるのか。

**答** 浄化槽の管理は、入居  
者ごとに管理組合をつ  
くって、代表者が集金や精算  
をすることになる。刈合団地  
等と同じ仕組みであり、住宅  
使用料とは別となる。

# 8 議員が町政を問う

6月定例会では、8人の議員が22件の一般質問を行い、6月13日から14日の2日間にわたり、活発な議論を展開しました。

6ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

**猪股 謙喜**（6ページ）

- 檜原・倉村の水田の水不足について
- 戸石川流域の活性化について
- 町職員に対する研修について

**室井 亜男**（10ページ）

- 公営住宅について
- 収納対策について
- 町の公共施設について

**湯田 健二**（7ページ）

- 町道弥五島・白岩線の改良について
- 農業振興について
- 林業振興について

**湯田 純朗**（11ページ）

- 倉檜堰の現状と今後の課題について
- 町営住宅使用料及び水道使用料の滞納の推移それらに係る対策は

**山名田久美子**（8ページ）

- 防災頭巾の備えについて
- 地域おこし協力隊について
- 下郷町と連携した共通IC型ポイントカード事業について

**小椋 淑孝**（12ページ）

- 少子化問題について
- 小学校統合について

**星 輝夫**（9ページ）

- 児童・生徒の安全管理体制について
- スノーシェッド内での事故防止策について
- 新たな循環バスの運行について

**玉川 邦夫**（13ページ）

- 空き家対策計画書から具体策を問う
- 新教育長に下郷町の教育行政を問う
- ふじの花をもっと町のシンボルに



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。





町政

## ここを問う

### 猪股謙喜議員の 一般質問

質問

倉檜地区での水不足 町の対応は

答弁

ただちにポンプにより取水した

答

今回の原因は、3月4月の気温上昇で雪どけが早まったのではないかと考え、取水口上流の堆積土砂の撤去。水中ポンプ2基と発電機1台により取水量を増加させた。費用は、土砂撤去費が約20万円。発電機とポンプ等の設置では、借上料を1日、1万4千円程とみている。撤去費と借上料は町が負担。発電機の燃料費は、集落負担となる。

協議会では、県への要望を実施してきた。以前の要望で、平成16年に農業災害を充て、頭首口から十字ブロックを阿賀川中央付近まで延ばした。そのせいか、流れが長野側に行ってしまった。そこで取水口を上流へ延ばそうと農林事務所で試算した。386mのばした場合、事業費は5億5千万円。受益者負担は17%で約9千万円、この負担は難しいので、県の河川改修の折りにお願いした。取水口の向い側は、長野八千窪といい、ここから加藤谷川と阿賀川の合流地点までが、河川計画に入っていない。これが倉檜堰の改修が遅れている理由である。



設置された発電機とポンプハウス

質問

戸石川流域の活性化計画作成を

答弁

振興計画 総合戦略を  
強くすすめていく

問

戸石川流域は、河川と道路が県管理で、町は直接改良改修ができない。流域の総合的な計画を作成する事で、河川と県道の改良が進み、下野街道、カタクリの花、山桜、水車などの山村風景、戸赤の交流施設等、地域資源が生かされるのではないかと考える。

また、県道の栄富工区工事完了を見越し林中・姫川・成岡へのてこ入れも必要と思うかどうか。

答

県では林中の国道12号、289号の変則交差点改修のための測量設計を実施中とのこと。町は、県道下郷本郷線栄富工区の整備促進を図っている。

質問

職員の研修はどうなっているのか  
挨拶ができない職員が増えている

答弁

服務規程の確保はもとより人間としての  
資質の問題 職員に徹底指導していく

**問** 榎原倉村で田植えの終えた1カ月後に水田が水不足となった。以前から阿賀川からの取水に不安があり、堰の改修をすべきとの声が上がっていた。今回の水不足の原因と対応とその費用分担について、倉檜堰改修促進協議会の取り組みについて質問する。



町政

## ここを問う

### 湯田健二議員の 一般質問

質問

#### 町道弥五島白岩線の改良について

答弁

#### 県道バイパス化に向け 引き続き協議し要望していく

**問** 町道弥五島白岩線は、生活道路として重要路線でありながら、通称阿久戸坂の改良は、塔のへつり橋が昭和55年に完成しても今もそ

のままである。23年頃に町で改良するため測量をしたが地権者の同意が得られず断念した経緯がある。(現在は同意を得ている。)

県では、白岩水門間の冬期間の交通不能区間を解消するためバイパス化計画もあるが、今もって何の話もない。28年

答

に塔のへつり橋から白岩集会場までの測量をしたようだが、これは県で施工するのか。それとも町道弥五島白岩線であるため町で実施計画するのか。

白岩阿久戸地区は、幅員狹隘で車両交互に支障をきたしている箇所であり通称阿久戸坂は12%の大変危険な急勾配箇所である。町は22年度に測量設計を塔のへつり橋から県道高隴田島線の延長220mまでのバイパス概略設計を実施したが、一部の地権者から同意が得られず町

では事業化へ至っていない。県の情報では、現在県道バイパス化を検討協議中のことで、町も同区間の県道バイパス化は引き続き協議を重ねていく。あわせて県道高隴田島線改良促進期成同盟会で白岩水門間の冬期間の交通不能区間解消を含めた要望を、今後力強く要望していく。



車両交互に支障をきたしている通称阿久戸坂

質問

#### 町民の財産である 町有山林造林の管理状況は

答弁

#### 補助事業を活用し管理しているが 多くの課題がある

問

町民の財産である町有山林造林26力所、面積約160haの管理状況は。

答

雪起こしや下刈りとあわせ除伐・間伐施業を、補助事業を活用して管理している。しかし、急傾斜地で作

業道が困難なこと、幅員狭小のため大型機械の搬入が困難であるなど、一部荒廃が進むなど、今後の本格的な主伐に関し、多くの課題に直面しているのが現状である。

質問

#### 水田農業確立のため どのような対策を講ずるのか

答弁

#### 農業再生協議会や補助支援など 総合的かつ継続的に支援する

問

町は、水田農業確立のため、どのような対策を講ずるのか。また、町農業振興地域整備計画の見直しスケジュールを伺う。

答

町農業再生協議会では、水田農業対策会議を設置し、地域や関係機関との連携を深め、同時に26年にがんばる農業支援事業補助金を創設し、きめ細かな農家支援を目指す事業をしている。

今年も水稲生産にかかわる農家の負担軽減のため、1反当たり1500円の補助支援を継続し、農家への個別支援のほか、直接支払交付金事業や多面的支払交付金事業などで各地区に補助を行うなど、総合的かつ継続的に町の農業を支援していく。町農業振興地域整備計画の見直しは、2力年計画(30・31年度)で総合見直しを図りたい。





町政

## ここを問う

### 山名田久美子議員の一般質問

質問

#### 地域おこし協力隊について

答弁

#### 町の魅力を広めながら募集を図る

問

地域おこし協力隊は、現在応募の状況はどのようなになっているのか伺う。

答

5月末現在、問い合わせ7件、応募2件あったが採用までには至っていない。下郷町の魅力を広めながら協力隊の募集を図っていく。

質問

#### 防災頭巾の備えについて

答弁

#### 各学校の防災計画とあわせ検討

問

昨年9月の定例会で、全国瞬時警報システム対策と備えについて、防災頭巾などを備えることが必要なのではないかと質問をした。学校での訓練は地震などを想定し実施し、防災意識を高めているが、防災頭巾などの備えも検討していくと、答弁されたのか、そして備える考えはあるのか伺う。

答

町民の皆様の人命保護を最優先とした中で、担当課で検討を進めてきた。防災頭巾の安全性テストでは、火の粉を防いだり、軽量の落下物から頭部を守る点ではある程度効果がある。一方衝撃吸収や防災の点で安全でない場合も出てくる結果が示されている。導入計画に関しては、各学校の防災とあわせて子供たちの人命保護最優先に慎重に検討を進めていかなければならないと考える。

質問

#### 商工会しもごろーカード事業について

答弁

#### PR普及推進を支援していく考え

問

昨年10月5日に運用を開始したしもごろーカードは、これまでの登録者数約4000人となっている。この事業は、消費を流しさせず町内を循環させ、町内71事業所で実施、16事業所では来店ポイントを実施、この来店ポイントは全国的にも珍しく注目されている。行政では、「しもごろー健康ポイント」の取り組みを実施している。観光客や町外の方も利用できるカードでもあり、リピーターを増やすためにも効果を発揮できるものである。町として支援策と取り組み状況について町長の考えを伺う。また、「しもごろー健康ポイントカード」の昨年の実績と今年度の取り組みについて伺う。

答

この事業は、商工会が県補助を受け、県が3分の2、残り3分の1の半分で補助対象がない人件費合わせて400万円ほど町で補助している。町は昨年、健康ポイントカード事業を実施し、370名の予算に対しポイントを付与した方は65名にとどまった。今年度は、国民健康保険加入者の特定健康健診に3ポイント、がん検診で罹患率の高い肺・大腸・胃がん健診に関し各2ポイントを付与するなど、多くの町民が500ポイント獲得し、ひいては受診率の向上と健康意識の高揚につながればと考える。今後、関係機関、団体と連携し、しもごろーカードのPR、普及推進を支援していきたい。







町政

## ここを問う

### 星 輝夫議員の 一般質問

質問

野生動物の侵入を防ぐため  
学校の山際へフェンスを設置しては

答弁

生徒児童の安全を確保するため  
協議検討していく

問

環境の変化により、本来いるはずのない場所に野生動物があらわれている。学校付近でも野生動物が目撃

答  
町長

されており、町は、この危険性をどう考えるのか。また、対策として学校の山際へフェンスなどを設置すべきでは。町の喫緊課題であり、人身被害のおそれのあるツキノワグマは、被害申請あった場合、即日町許可で捕獲隊に依頼している。学校付近で出没情報があった場合、児童生徒の安全を優先し、捕

質問

高齢町民の利用拡大を視野に  
新たな町内循環バスを運行しては

答弁

経費のかからないよう

研究し検討していく

問

高齢町民の利用拡大を視野に、新たな町内循環バスを運行しては。

答

路線バスと観光循環バス、新たな町内循環バ



7月檜原小の前山に熊があらわれ電気柵を設置

獲隊が敷地周辺を巡回し対策しており、危険性は十分認識している。また、児童生徒の通学路や学校付近で熊が目撃された場合、教育委員会から小中学校へ注意を促し、学校

答  
教育長

側は一斉メールなどで保護者へ伝え、集団登校や教師によるバス停までの見送りなどの安全対策をしている。今後も学校関係者などと連携し、児童生徒の安全確保に万全を期したい。

質問

スノーシエッド内の事故防止について  
町が路面凍結対策などを講じては

答弁

承認工事の定義には該当せず  
道路管理者の対応となる

問

湯野上スノーシエッド内の事故防止について国道だから国や県へ任せるとではなく、初期的な対応を町が講じては。路面凍結の対策として、昼間でも透明で視認性よいアクリル板を柱の間に詰め込み外気侵入を防ぐ保温対策などはどうか。

答

道路管理者以外の者が当該道路に工事を行う場合、道路法第24条、承認工事の手続きが必要となる。

問

当局に安全確保の協議・検討をしていく。  
使用禁止のテープが張られている遊具は撤去などするべきでは。

答  
町長

予算内で危険度の高いものから撤去する計画である。

今回の対策は、承認工事の

定義に該当しないため道路管理者の対応となる。

当該箇所は、会津縦貫南道

路4工区内の小沼崎バイパス

箇所にてはまるので、事業

主体である県土木部、南会津

建設事務所へ早期開通の要望

を会津縦貫道路整備促進期成

同盟会及び下郷町会津縦貫南

道路対策協議会をもって強力

に要望していく。



町政

## ここを問う

### 室井亜男議員の 一般質問

質問

**町税等徴収対策協議会をいつ開催し  
職員にどのような対策や指示をしたのか**

**答弁**  
申告時期と重なり開催していないが  
担当課長を通じ指示した

問

毎年のように収納率、  
滞納対策の問題が提起  
され、昨年12月定例会でも質  
問したが、29年度の各種町税

の収納率をお示し願う。また、  
町税等徴収対策協議会につい  
て、前回の質問で29年度は8  
月に1回の開催で、今後より  
精査を行い、年度内に再度開  
催すると答弁されたが、いつ

開催するか伺う。

質問

**新しい公営住宅を建設している一方で  
空き部屋も滞納もある 矛盾しているのでは**

**答弁**  
空き部屋については  
申し込みいただくよう努力する

問

現在、姫川団地を国補  
助を受け建設中だが、  
町費として多額の投資があ  
る。そこで伺うが、この事業

の進捗と今後の計画、全体事

答

5月末時点で、既存住  
宅2棟の解体と新築住

業費などお示し願う。また、  
29年度住宅使用料の滞納状況  
と空き部屋の状況を伺う。

宅2棟が完成、29繰越事業で  
1棟を建設中、8月末完成予  
定。全体の進捗は約3割、本  
年度発注の1棟が完成すると  
約5割の進捗。今後の計画で  
は、31年度に既存住宅2棟の  
解体と新築4棟を予定だが交  
付金の配分により施工年度の  
延長もある。現時点の総事業  
費は8棟で約5億8千万円、  
交付金2億5千万円を見込ん  
でいる。現在、起債の充当は  
ない。また、各団地の現年度  
分の滞納総額は約365万円  
で、空き部屋は全部で7部屋  
となっており、申し込みいた  
だくよう努力していきたい。

答

29年度の収納率は、町  
県民税99・27％前年比  
0・2増、法人町民税99・22％  
前年比0・56減、固定資産  
税99・45％前年比0・27増、  
軽自動車税98・64％前年比0・  
37増、町たばこ税100％、  
入湯税85・28％前年比14・72  
減、国民健康保険税94・74％  
前年比0・43増となった。

協議会の開催は、年度内に

質問

**公共施設について  
財政計画との調整は行われたのか**

**答弁**  
個別計画のなかで  
財政状況を勘案し方針等を示す

問

昨年9月定例会でも質  
問したが、町公共施設  
等総合管理計画で、今後40年

答

か伺う。

財政計画との調整につ  
いては、32年度までに

間の公共施設の更新や大規模  
改修の費用が年平均で約15億  
円かかり、財政計画との調整  
は、30年度予算以降に調整を  
考えているとの回答であった。  
既に30年度予算が執行されて  
いるが、今年の財政計画とは、  
どのような調整が行われたの

施設類ごとの個別施設計画の  
策定が義務づけられているこ  
とから、この中で財政状況を  
勘案し、方針等を示すものと  
考えている。このことから、  
30年度予算は公共施設等管理  
計画に基づくものではないの  
で、ご理解いただきたい。





町政

## ここを問う

### 湯田純朗議員の 一般質問

質問

姫川新住宅の入居に伴い  
町民が納得する対策を滞納者に講じたか

答弁

条例及び規則を遵守し 使用者負担  
の公平性確保により一層努める

**問** 姫川に新しい町営住宅  
が29年に2棟完成し、  
もとの住民が入居している。

過去にも質問したが、住宅及び水道使用料の納付状況が問題となっている。そこで何うが、新住宅に移住された方の書類上の手続、契約の内容、住宅使用料の設定金額までのプロセスをお聞きする。また、滞納者にどのような方法をとったのか、滞納状況を含め町民が納得する対策を講じたのか、具体的に何う。

**答**

入居する際の書類手続は、入居前に移転承諾書、移転に関する契約書、移転完了届、入居申込書、請書を提出いただいた。契約書の内容は、連帯保証人を含めて新たに契約書を取り交わし、条例及び施行規則の規定を遵守し、家賃等の支払いに問題があった場合は、連帯保証人が責任を持ち名義人に代わって支払う内容となる。

また、新住宅に入居する滞納者には、納期限内に納付し、誓約内容が履行されない場合は、いかなる法的措置が起きても一切異議申し立てしない旨の納付誓約書を提出いただいた。家賃設定は、家賃算定基礎額に市町村立地係数、規模係数などを乗じて、収入階層1から8まで算出している。新住宅に入居されている方3名の家賃は、従前の家賃を超えるため、入居者の居住の安定を図るために傾斜家賃制度を設け、5年間かけ緩和措置を行う。

新住宅に移住された水道使用料は滞納者が2名、30年3月に給水停止予告通知書を発送し、現在納付相談及び納付計画書を作成中。また、姫川団地全体の滞納状況は滞納者10名、今後も自主納付を促し、生活実態や所得状況、収納状況を鑑み、臨戸訪問を行い、簡易水道給水停止要綱により、水道使用者負担の公平性確保により一層努めていく。

質問

倉楯堰の現状と今後の課題について  
どのような具体策があるのか何う

答弁

今後関係機関と話し合い  
安定的な取水に向け対応していく

**問**

倉村・楯原地区の水田  
60haにとって最も重要  
なのは水の確保である。水源

は、長野橋付近の大川から取水し、円蔵堰を通じ供給しているが、近年地球温暖化の影響が大川の水量が年々減り、年々取水場所が上流になっている。そこで何うが、26年に設立した倉楯堰改修促進協議会は、設立以来どのような活動を行ってきたか。また、この協議会の現状と今後の課題についてどのような具体策があるのか何う。

**答**

これまでの主な活動は、  
27年に南会津建設事務



年々水量が減っている大川

所長に要望を実施、28年は長野地区漁業組合、南会津建設事務所、南会津町の関係者とともに現地視察や意見交換会を実施、現在まで県からは河川改修に向けた回答はない。29年は倉楯堰取水口で測量会社技師を講師に招き、取水口の改修案などの検討を行い、今後の要望資料として河川状況の変化を把握する測量を含む情報を整理し、河川改修の必要性を強く訴えていくなどの助言を受けた。なお、29年に県が倉楯堰付近の測量調査をした情報があり、現在測量成果について町への提供を依頼中。今後も県、南会津町、長野地区などの関係機関と話し合いを進め、安定的な取水に向けた課題解決に対応していく。

小椋淑孝議員の  
一般質問

## 質問

少子化に対する町の対策は

## 答弁

根本的な少子化対策は

検討していく

## 問

今後の下郷町が心配になった。しもごう広報6月号を見て、4月の届出において亡くなられた方が12名であったのに対し、出生が0名ということ。町も様々な対策を検討されている事とは思いますが、人口減少、少子化に歯止めがかかっていない状況。子宝祝金や入学祝金、学校給食費の全額補助など施策を行っておりますが、今後町に戻ってきていただくため、

## 答

下郷町においても安心して子供たちを生み育てることができ、子供たちが生き生きと成長できる環境づくりを進めていきことが重要と考えている。子宝祝金や入学祝金、2人以上の同時入所



昼休みに校庭で遊ぶ子どもたち

児の保育料免除、学校給食費無料化など、数多くの子育て支援策に取り組んでいるが、出産、子育てに対する支援策はあるものの、根本的な少子化対策の解消法については町として検討しなければならない。若者を増やす取り組み、若者が故郷に戻ってくる取り組み、さらに若者が転出しな

い取り組みなどについて当然検討しなければならない。

## 質問

小学校を統合する考えはあるのか

## 答弁

現段階では考えていない

## 問

統合せずにこのまま続けていけば、町内の3つの小学校とも複式学級になり、学年ごとの団体行事はできなくなる。統合となれば通学に係る問題などあるので簡単にはいかないと思うが、現段階での町長のお考えを問う。また、教育長にも伺う。

また、子を持つ親としての考え、どのような環境で子供を育てたいなど、確かめる必要もあると思い、住民の一人一人の意見集約を行う考えはあるのか。

## 答

町長

町としても今後少子化に対応した学校教育の充実を図るため、教育上の諸問題解消への取り組みを検討していかなければならない。

統合については、メリット、デメリットも考えると、統合による集団規模が確保され、

## 答

教育長

少子化に対応した学校教育の充実策等の検討を加えていく中で、意見集約等が必要となれば検討する。

少子化に対応した学校教育の充実策を継続的に検討していかなければならない。子供たちがより良い環境で学習できるかを地域、学校、保護者等を含め、具体的にどのような教育上の問題があるのか、教育環境の在り方について慎重に検討していく。





町政

## ここを問う

### 玉川邦夫議員の 一般質問

質問

空き家対策の具体的な取り組みを問う

答弁

説明会等を持ち

住民への迅速な対応を

**問** 空き家にして4～5年  
もたつと、リフォーム  
は大変。バンク登録をどうす

るか等も提案しながら、早期  
の話し合いが大切。スピード  
感ある相談体制が求められる  
が町長の考えを問う。

**答**

町の広報誌・ホームペ  
ージなどで定期的な周  
知、啓発活動を行っていく。  
また協議会も立ち上がったの

質問

町の花「ふじ」に  
もっとシンボルとしての関心を

答弁

藤の花でまちづくりを  
という観点で検討を

**問**

町の花「ふじ」にはあ  
まり関心が向けられて  
いない。養鱒公園で「ふじ祭  
り」が開催されたが、藤の花  
や藤棚は何処にも無かった。  
蕎麦などの花でも良かったの  
では。ぜひ、観光や公共施設  
に藤棚を設けるなどPRして

**答**

振興計画でも地域景観  
の保全を上げ、また町  
民が選んでくれた町の花とし  
て、藤の花への愛情や誇りを  
醸成する取り組みを検討して  
いく。

で、具体的な調査・対策がス  
ピーディーに行われるように  
したい。



10年以上経過した空き家

**問**

著しく景観を損ない、  
保安上危険であるとい  
う「特定空き家等」がどの位あ  
るのか。また観光にとつての  
景観保存と創造は重要で、具  
体的な取り組みを期待したい。

**答**

空き家330軒のうち  
45軒が特定空き家。対  
策協議会の立場で所有者との  
話し合いも深めることができ、  
具体的な前進が期待できる。

質問

新教育長に学力向上推進策を問う

答弁

指導力向上にむけた

町からの研修費も検討

**問**

○子どもの持っている  
能力を引き出してあげ  
る教育○学び方を身に付け自  
分の学びに自信が持てる教育  
を、クローバープランで実効  
性あるものにして欲しい。そ  
のためにも、先生方の指導法  
研修に町の予算化を図る。

**問**

統合問題が町民から出  
されてきた。今後は、  
総合教育会議等で少人数教育  
のよさを含め、統合問題や小  
中一貫教育または義務教育学  
校等について話題にすべきで  
ある。

**答**

下郷の子どもたちのよ  
りよい学習環境、下郷  
の地域にあった教育のあり方  
について総合的に分析してい  
く。

**答**  
教育長  
県補助の指導力向上事  
業や確かな学力を身に  
つける学びのスタンダード推  
進で教師の指導力の向上を図  
っている。町からの研修費も  
検討する。

なお、7月下旬の総合会議  
で統合の話題を取り上げたい。

# 我が町議会では2題を提案

会津縦貫南道路の整備促進と  
鉄道およびバスへの支援措置

7月6日  
南会津地方町村  
議会議員大会



地域高規格道路「会津縦貫南道路」の  
整備促進について

●国直轄権限代行事業(湯野上バイパス8・3km)  
の事業促進(県の取組に同

●田代IC(仮称)と下郷IC(仮称)の間に、新た  
なICの設置

●小沼崎バイパス1・5kmの早期事業促進  
●下郷田島バイパス11・1kmの早期事業促進

第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに  
生活バス路線への支援措置について

●第三セクターへの県補助の堅持、新たな国補助  
の創設

●第三セクター鉄道の大規模災害等に係る国の財  
政支援措置の拡充

●地域公共交通確保維持改善事業費補助金の補助  
率引き上げ

●首都圏からのさらなる誘客を目指すため、「会津  
下郷」まで電化とする支援措置

●生活バス路線への財源措置の充実

※IC(インターチェンジ)



町議会を代表し提案理由の説明をする山名田議員

只見町「湯ら里」で開催さ  
れた議員大会では、各町村か  
らの提出事項の審議に入る前  
に議員研修会を実施しまし  
た。講師に南会津地方振興局  
長金子隆司氏をお迎えし「交  
流人口の拡大に向けた福島県  
の取組について」ご講義をい  
ただきました。



力強く特別決議文を述べる佐藤議長

決議及びふくしま復興・再生  
に関する特別決議とあわせ、  
12件の提案事項が全会一致で  
可決されました。今後、国や  
県など関係機関に対して要望  
活動をする事となります。



## 読まれる議会だよりの 編集を学ぶ

**5月23日**  
**県町村議会広報研修会**



講演を行う長岡光弘氏

郡山市「ビッグパレットふくしま」において、県内40町村から、議会広報編集に携わる議会議員約260名が参加し、本町からは議会広報常任委員会委員4名が参加しました。

グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に招き、「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」と題して講演が行われました。また、議会だよりのクリニックとして、実際に県内町村議会が発行している広報紙について、具体例を挙げた的確なアドバイスがなされました。

私たちの編集した議会だよりの研修会でクリニックしていただき、そして町民の皆さんに「読まれる議会だより」を目指していきます。

## 会津縦貫道南道路 (仮)田島 I C との 接続箇所を現地調査

**6月28日**  
**県道高隲田島線**  
**改修促進期成同盟会総会**

下郷町と南会津町田島で結ぶ本路線は、通勤通学に利用され、国道121号線が不通となった時の代替路線として、重要な県道です。

総会では、本年度の予算と事業が承認され、今年から2年間、下郷町長が会長となりました。

南会津建設事務所からの事業の説明で、本年度の改良事業は、両町とも事業なしとなり、改良区間の多い下郷町にとって、大変厳しい結果となりました。

今後も県・関係団体への要望活動を強く行ってまいります。



旧田部原一里塚付近での現地調査

### 29年度の事業実績

- 1 中妻工区……県道の幅広路肩工と物件補償を実施
- 2 沢田工区……側道橋上部工と歩道工を実施
- 3 落合工区……測量設計を実施

# 議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを  
写真でレポート

## はっらっクラブ 姫川サロン で心も体もリフレッシュ！



お正月の茶会

姫川サロンは、会員45名（60歳以上入会可）、年間10回ほどの自主的活動によって、心と体のリフレッシュを図っています。

これからも、グランドゴルフ、茶会、文化祭への参加、高齢者への慰問など、楽しい行事が待っています。

なお、将来のまちのことも学習しようということで、昨年議会傍聴も始めました。

## 6月議会を傍聴していただき、熱意のこもった感想をいただきました。

- ▶「議会だより」では感じ取れない議場の雰囲気や議員さん、町長さんの声、さらには、いろいろな質問と答弁、真剣に議論する関係者の姿に触れ、感動いたしました。安心して暮らせるまちづくりのための前向きな質問は、町政をよくする原動力になると信じます。（サロン代表 猪股さん）
- ▶町政について関心はありましたが、貴重な機会をありがとうございました。町長と議員とのやりとりで感じたことは、質疑は簡潔明瞭であってほしいということです。（岩澤さん）

今後、一層魅力ある議会を目指してまいります。ありがとうございました。



姫川サロンの皆さん（11名参加）

## 議会を傍聴しませんか

次の町議会定例会は9月になります。  
お問い合わせは町議会事務局（69-1123）まで

### 議会広報常任委員会

|      |     |     |
|------|-----|-----|
| 委員長  | 山名田 | 久美子 |
| 副委員長 | 玉川  | 邦夫  |
| 委員   | 猪股  | 謙喜  |
| 委員   | 小椋  | 淑孝  |

家の前や田んぼに流れる水はどこから来ているの？この素朴な問いかけが、子どもたちとスタートさせた郷土学習。▼農業・工業・生活用水として水がいかに大切な。今年のような深刻な水不足が私たちに問いかけてくれる。▼先人たちは、苦勞して堰を築いてきた。そして、その歴史を代々引き継いできた。今度は、私たちが今の子どもに伝えてあげなければならぬ。▼現地に行つてこそ分かる学習を、できる限り子どもたちに提供してあげたい。（玉川 邦夫）

編集後記